



會田さん(右)と調布市の本間さんが桜の結婚を報告



紅白の投げ餅。踊りや音楽のステージも続きました



昨年建て替えられた分署の駐車場に整列する団員ら



検閲に臨む団員ら。新しい団員服が青空に映えます

伊丹沢地区の會田征男さん宅で、「飯館復興の桜を守る会」が「復興さくらまつり」を開催。村民や支援者など1000人余りが集い、五分咲きとなった約3000本の桜の花見を楽しみました。會田さんは会を代表して「村を元の姿に」と復興への思いを語り、協力者に感謝を伝えました。また、交流する東京都調布市の市民団体と共に、桜の若木の結婚式を披露しました。

飯館復興の桜
を守る会

4
23

4
5

松川第二応急
仮設住宅



平成30年度の小学6年生の教科書に掲載されます



当時は紙芝居の題材にも。上演に感謝する住民

飯館村消防団

4
23

4
22

松川第一応急
仮設住宅



台湾の伝統的な人形劇と弦楽四重奏の競演



国際色豊かなプログラムをこの距離感で

「命のおにぎり」のエピソードが、来年度、光文書院発行の道徳の教科書に掲載されることが明らかになりました。「命のおにぎり」とは、平成26年2月、記録的な大雪で立ち往生した車列に、松川第二応急仮設住宅の住民が、支援米を炊いて配ったおにぎりのこと。反響が広がった当時、住民の皆さんは、「役に立てばうれしい。少しでも恩返しになれば」と話していました。

台湾から来日し福島市で復興支援の親善コンサートを開催した「台北愛楽管弦楽団」「人形劇華洲園掌中劇団」の皆さんが、集会所を訪れ、弦楽四重奏と台湾伝統の人形劇を披露しました。「皆さんのために演奏ができてうれしい」「健康をお祈りする台湾の歌を演奏します」など温かな言葉を添えて演奏された美しい曲の数々に、35人の来場者が聴き入りました。

春季検閲式が、南相馬消防署飯館分署で行われ、村消防団・役場消防隊・女性消防隊の合わせて107人が参加しました。高野進消防団長は「新しい村づくりを行う中で住民が安心して生活できるよう気概を持って任務にあたる。団員の二層の奮起を願う」と一同を激励。団員らは通常点検機械器具点検など不測の事態に備える訓練を行い、検閲を受けました。